

中 緑が丘

自主
健康
友愛



←学校HP
はこちら

第79回卒業式を挙行 卒業 おめでとう



3月12日(木)、第79回卒業式を挙行しました。卒業生30名は中学校生活の集大成となる立派な姿を見せてくれました。また、在校生の態度もとても立派で、全校生徒が一体となって創り上げた感動的な卒業式となりました。

卒業生全員が、春から自分で選択したそれぞれの道へ進むこととなります。

「この一年間、最高学年としての誇りを持ち、新たな活動にも挑戦し、主体的な活動を展開してきたこと」をこれからの糧とし、さらに大きく、たくましく歩いてほしいと願っています。

卒業おめでとう！

4月行事予定

6日(月) 始業式・入学式(弁当持参)

7日(火) 給食開始

8日(水) 新入生歓迎会

13日(月) 修学旅行(～15日まで)

19日(日) 盛岡一周継走

22日(水) 全国学力調査

23日(木) 全国学力調査・新入生学調

24日(金) 生徒総会

27日(月) 授業参観・PTA総会

30日(木) 全国学調

次のステージに向かって 最高!最幸!!さあ~いこう!!

【1年生】「FIRST TAKE」(全員)

- 失敗を恐れず、進んで挑戦できるクラス (陽)
- 協力し合い、成長が感じられるクラス (怜真)
- わくわくドキドキしながら、歩き方がぎこちなかった入学式。(凜穂)
- 大きな制服を着て、緊張しつつもこれからが楽しみになりました。(優太)
- カッコいい先輩たちみたいになれるよう頑張ろう。(将汰)
- 新しい自分を見つけるように、いろんなことに挑戦しよう、と思いました。(陽向)
- 人見知りで友達が少なかったけれど、トラストウォークでクラスのみんなとの心の距離が近づきました。(唯芽)
- 小学校とは一味違う授業に、最初はついていくことが大変でしたが、あきらめずに頑張りました。(拳斗)
- 一気に人数が増え、初めてのことが多く、なかなかなじむことができなかった学校生活。(颯也)
- 新しい友達や先生との日々。最初は緊張だったけど徐々にほぐれていきました。(菜夢)
- あこがれていた部活動が始まり、毎日必死に練習しました。(心奏)
- 初めての体育祭はケガで出られませんでした。悔しかったしみんな楽しそうだったから、自分も練習の時から参加したかったと思いました。(優飛)
- 長縄跳びで30回くらいしか跳べなくて、みんなが人のせいにしていました。(まゆ)
- 練習しても言い合いになるだけ、本番でもあまり跳べなくて、自分たちのまとまりのなさを実感しました。(晴)
- ソーランも応援も大きな声を出して動くのが恥ずかしかったです。(陸飛)
- それでも必死で練習についていき、本気で取り組む楽しさを知りました。(華凜)
- 先輩たちのようにになりたい、と強く思った初めての行事でした。(将慶)
- 文化祭の学級合唱、勉強と部活の両立に悩んでいた私はピアノ伴奏のことを考えるのが嫌で逃げていました。本番が近づくとプレッシャーがありましたが、家族や先生、友達の言葉に救われて、本番ではミス無く弾くことができました。(乃々)
- 「心をついに」を合言葉に取り組んだことで学級のまとまりも出てきたと思います。(聡士郎)
- 中学校生活に慣れた1年生。落ち着きがなく、毎日のように何か起きて先生を困らせました。(心愛)
- 注意されることも多く、正直、楽しくない日もありました。(彩来)
- 自分たちの課題は何か、どうすればもっといいクラスになるか、みんなで何度も話し合った結果 (百愛)
- 先輩になるという心の準備と、進級する自覚が出てきて (陽平)
- 最後の学年レクで絆ジャンプをしたとき (星空)
- 体育祭が嘘のように連続で跳べたことに、自分たちでもびっくりしました。(陽和)

【2年生】「飛翔」～飛躍し続ける1年～ (全員)

- 担任が変わるといって驚きとともに新しい仲間が増えて、スタートした2年生。(凜穂)
- 勉強、部活、生徒会活動と、一気に忙しい日々になりました。(陽平)
- 体育祭。絆ジャンプは3年生に勝てるかもしれないと思うほどたくさん跳べました。(優飛)
- 縄に引っかかった人を探すのではなくみんなで声をかけ、1年生の時より成長したと思いました。(彩来)
- 職場体験では実際に働く方たちに仕事を教えていただき、すごさを実感。皆さんがかっこいいと思いました。(颯也)
- 仕事の内容を学ぶだけでなく、人間性でも成長できたと思います。(菜夢)

- 宿泊研修の自主研修で迷子になり、すごく不安だったけれど今となってはそれも楽しい思い出です。(綜太郎)
- 自分たちだけで行動することが多く、仲間の大切さを実感しました。(将汰)
- 部活動では、先輩が引退すると楽しいことばかりではなくて、自分たちが引っ張らなくては、と責任を感じました。(乃々)
- 地区新人大会。初めての大きな大会で緊張したけれど、チームで協力して、団体優勝できた時はうれし泣きをしました。(陽)
- 立志式。先生方の愛のある厳しい指導のもと、不安や緊張に負けないように、全力で練習しました。(心愛)
- 自分の過去と未来を見つめ、殻を破ることができて、自信をつけることができました。(琉琥)
- たくさんの人に褒めてもらって立志式は成功したと実感しました。(陸飛)
- 中堅学年として全力で盛り上げた体育祭。(美羽)
- 3年生の合唱に近づきたいと全力で取り組んだ合唱コンクール。(華凜)
- 自分で決めた言葉を心に刻み、これからも頑張ろうと決意した立志式。(まゆ)
- 行事の取り組みを通して、どんどん絆が深まったと思います。(心奏)

【3年生】「邁進」一つ一つを大切に (全員)

- 最後の1年だと思うと、日常生活がとても楽しくなりました。(将汰)
- 修学旅行は、楽しい思い出がたくさんでただけでなく、時間の管理を痛感し、時間を大切にしようと思いました。(陽向)
- 家を離れた2泊3日、家族のありがたさを感じるいい経験になりました。(優飛)
- 最後の体育祭、1・2年生に協力してほしいという願いで大きな声を出して練習しました。(百愛)
- 組団をまとめるのは正直大変でしたが、仲間の協力と後輩たちの優しさのおかげで、最高の体育祭にすることができました。(琉琥)
- 絆ジャンプは240回を超えました。私たちの成長と絆を実感できる瞬間でした。(凜穩)
- 中総体。支えてくれる家族への恩返しで、必ず県大会へ連れて行きたかったけれど、勝利への道は簡単ではなく、負けてしまいました。(美羽)
- でも、「頑張ったね」と褒めてくれる家族はなぜこんなにも温かいのでしょうか。(乃々)
- 合宿や遠征など、毎週のように送り迎えをし、大きな決断の後押しをしてくれたお父さん、お母さん、ありがとうございます。(聡士郎)
- いろいろな大会で成績を残すことができました。先生、コーチ、家族、そして支え合った仲間がいたからこそできたと思います。改めてみんなに感謝します。(優太)
- 寒い日も暑い日も歯を食いしばって練習した駅伝は県大会出場することができました。(将慶)
- 初めて走るコースだったけれど、たくさんの観客や仲間の応援のおかげで、ベストを尽くして走りきることができました。(新)
- 文化祭に向けて、ぎりぎりまで心を込めて作品作りを頑張りました。(陽和)
- わたしの主張では、全校の前で初めて自分の過去を語りました。緊張したけど一瞬で終わった気がします。(琉琥)
- 3年間演劇をやってきて、台詞が多く一番難しい役でした。自分なりに声出しをして練習し、役になりきって演じることができました。(百愛)
- 文化祭直前、合唱練習についてみんなで話し合っ、意見がぶつかり合ったからこそ自分たちが満足できる合唱を創り上げ、金賞をとれたと思います。みんなに感謝したいです。(聡士郎)

- 岩中の三大文化となった岩中太鼓は町内のイベントでも演奏する機会が増え、地域の皆さんに楽しんでもらう演奏ができました。(拳斗)
- 在校生の皆さん、私たちがあこがれた先輩のように、私たちは皆さんに何かを伝えることができたでしょうか。(怜真)
- 生徒会活動を引き継いでからの皆さんの活動は頼もしく見えます。(陽平)
- 仲間を大切に、みんなで協力して「躍動する岩中」を目指してください。(優里花)
- テストの前日、私のストレスをお母さんにぶつけてしまいました。自信を無くして一人で泣いた日もありました。それでも温かい言葉をかけ続けてくれました。(晴)
- 進路のことで悩み、いろんな気持ちが重なって、私の気持ちをわかってくれないと思って、親に対して怒ったり泣いたりしました。迷惑をかけて本当に申し訳ないことばかりだったと今では思っています。(まゆ)
- 私たちをこれまで大切に育ててくれたお父さん、お母さん、見守ってくれた家族のみんな、15年間ありがとうございました。(陽和)
- まだまだ頼ることばかりだと思いますが、(将慶)
- これからもよろしくお願いします。(星空)
- 先生の話をもっと聞けず、反発したこともありました。(颯也)
- 悩みを聞いていただき、助かったこともありました。(唯芽)
- 先生方、この3年間優しく、ときにはとても厳しく、ご指導ありがとうございました。(心奏)
- 先生方が安心できるように、そして、また笑顔で会えるようにこれからも頑張ります。(心愛)
- 中学校生活では、勉強のほかにも人とかかわりや、何事にも前向きに挑戦することなど、大切なことを学びました。(華凜)
- このクラスのみんで過ごして、すごく成長できました。(菜夢)
- 私自身、岩中で大きく変わることができてよかったです。(唯芽)
- クラスのみんなの元気さ、明るさにパワーをもらい、困難を乗り越えることができました。(拳斗)
- この仲間がいたから日々のストレスもカバーできたと思います。(星空)
- 毎日が本当に楽しくて、友達と笑っている時間がとても楽しくて、ずっと続いてほしいと思いました。(彩来)
- 3年生になってからは、楽しみながらも、最高学年であることを忘れず、自らを律することが大切だと学びました。(優里花)
- 最高の仲間と楽しく過ごすことができて、一生の思い出になりました。(陸飛)
- 3学期、卒業までのカウントダウンが始まって、全然実感がわかず。(晴)
- 卒業しても離れたくないと思うほど団結していました。(綜太郎)
- 先生方から注意されることもありましたが、そのあとに自分たちで考え行動に移せたことがこのクラスの強みだと感じています。私自身、1・2年生の時から目標である「史上最高のクラス」に、30人全員でなれたと思います。(怜真)
- 本当に寂しいけれど、私たちは自分で決めた新しい道に大きな一歩を踏み出します。(新)
- 夢をつかむために、更に新しいことに挑戦し続けます。(優太)
- たくさんの人たちに支えられてここまでできたように。(陽)
- 今度は自分が支える人間になれるように。(綜太郎)
- 岩中での思い出を胸に、みんなで。(陽向)
- さいこー (さぁ行こう) (全員)